



## 会長挨拶

会長 長崎政直

### Bridging Continents on“太湖浄化”

去る12月12日、諏訪市浜の湯において、中国・太湖流域の浄化を研究している中国・南京大学の研究者・王仕さん他4名の方、アメリカは五大湖のひとつミシガン湖の浄化を手がけているノア・ホールさん、カリフォルニア沿岸の浄化を手がけている、リンダ・シーハンさんをまじえて湖沼浄化のためのワーク・ショップが沖野先生の諏訪湖クラブ中心に開催されました。当クラブからも、小林聖仁さん、小林強さん、三村さん、私と参加してまいりました。

この会は、本年一月に、沖野先生が、中国の太湖に招かれ、湖沼浄化の講演をして、その結果、日本で浄化が進んでいる諏訪湖の現地調査にこられたということでした。

午前中は、諏訪湖浄化の経過が、沖野先生から話され、次に、ミシガン湖、カリフォルニア沿岸について、さらに中国大湖の状況が話されました。午後は、諏訪湖浄化に関わった長野県や住民運動について関係機関及び運動団体から浄化運動について話され、諏訪湖ロータリークラブの活動について報告いたしました。

中国大湖は、無錫・蘇州等日本でも馴染みの都市を含む有名な景勝地ですが、諏訪湖の約170倍もある湖です。その汚染状態は、諏訪湖の35年ほど前の状況と見えました。

「中国の改革開放(鄧小平以降 1978 年)後、蘇州や無錫では、多くの工業団地が作られて工場が進出し、急激な都市化・工業化が進んでいる。一方で太湖水系の河川は汚染が進み、現在の太湖は湖周辺の悪臭や水質汚染がきわめて深刻である。太湖は周辺住民約 3000 万人の飲料水源となっているが、2007 年 5 月には藻類の大発生により湖水が青く変わり臭気が激しくなる公害事件が起こり、無錫市内では水道水が使えなくなる事態になった。人々がミネラルウォーターを買い求めたため通常の6倍以上の値になり、市当局が水の値上げを禁止する騒ぎが起こっている」ということです。

「中国政府も事態を重大視するに至り、10月までには、中国政府が湖周辺の 1,300 以上の工場に警告を与え、

平成 22 年 12 月 16 日(木) 晴れ

あるいは操業停止を命じたと報じられた。中国国務院は 2012 年までに湖水浄化の目標値を設定し、また江蘇省も環境保全のための政策を策定した。」

「だが地元の環境保護活動家・呉立紅によると、2010 年には操業停止処分となった工場は1社もなく、廃業した工場が別名義で操業を継続し、コストのかかる排水浄化装置は当局の検査時のみ稼働し普段は止められているなど、事態は実際にはまったく改善しておらず、新たな汚染が進行しているという。」ことです。

午前・午後、5時間にも及ぶ会議だったのですが、日本語、中国語、英語に通訳されての会合ですから、正味2時間くらいの情報伝達が精一杯で、討論、議論には及びませんでした。しかし、中国の研究者にとっては、官・民・産業界が連携しての諏訪湖浄化運動について、驚きがあったようです。中国では、国家主導で、浄化活動が始まりそうですが、長い道のりになるだろうと想像しています。

最後に、緊迫する中国との関係ですが、こうした民間での情報交換・友好関係によって、少しでも緩和できればと願うばかりです。Bridging Continents と言っても、私たちに出来ることは、こんなことしかないのですから・・・

## ◇幹事報告◇

1.以下の文書を受領いたしました。

①ウィークリー(諏訪大社 RC・茅野 RC)受領致しました。

### ■ニコニコ BOX

2 3 名	25,000 円
累 計	665,000 円
目標額	130 万円
達成率	51.1 %

### ■今週のことば

### ■出席報告

会 員 数	35 名
出席対象	35 名
出席者数	29 名
出席率	82.8%
前回修正	80.0%

### ■ 次回のプログラム

12月30日 休会

1月 6日

大社参拝・新春卓話

11時20分諏訪大社秋宮集



## 2. 連絡事項

- ① 理事会が開催され翌月予定が決定致しました。FAXにて連絡いたします。
- ② 1月6日の新春例会は11時20分諏訪大社秋宮集合となります。11時30分新春祝詞・終了後記念写真撮影後うらかめやに移動となります。
- ③ 1月13日の例会は国際奉仕委員会担当例会に変更されております。当日は岡谷エコーRCによるIMキャンペーンも予定されております。
- ④ 委員会事業にて受領した義捐金の処理をニコニコBOX収入として処理した過去もありますが、事業に対する義捐金の趣旨に添わないとのご指摘もあり次のおりの処理を行ないます。  
委員会事業報告(決算)では収入として処理し事業内容が判るように致します。本会計決算では義捐金収入を省き支出を減額して処理致します。
- ④ 原会員よりご尊父様の葬儀に於ける御礼の挨拶があり、多額の遺志金を当会にご寄付戴きました。
- ⑤ 元会員の故三沢氏を偲ぶ会の開催要望が寄せられておりますので理事会として開催企画をすることとなりました。ご遺族の意向をお聞きしながら取りまとめでご通知申し上げます。



議事進行する会長/幹事



受諾表明する三村会長予定者



第27期(2011-2012年度)役員のみなさん

## 第26期2010~2011年度年次総会

2010~2011年度年次総会が開催されました  
出席者数29名、会員83%の出席により総会は成立し次の2議案が上程され、いずれも満場一致で議決されました。

### 1号議案

細則の変更について

細則の変更は、クラブ運営の実態に合わせて変更するものです。別途配布済みの変更案とお承認されました。

(ロータリーホームページに細則を記載してあります)

### 2号議案

次期役員及び理事について

第27期(2011-2012年度)役員及び理事案が選出委員会より上程され次のとおり承認されました。

会長:	三村昌暉
直前会長:	長崎政直
会長ノミネー(エレクト):	蒲地整志
副会長:	原昭一
幹事:	高山巖
会計:	吉澤邦雄
会場監督(SAA):	小林聖仁
理事:	北原厚子
理事:	小林強
理事:	溝口幸二
理事:	高林一紀
理事:	海老原十三
副幹事・副SAA:	河西達雄

## 第1204回例会

担当 国際奉仕委員会  
溝口幸二会員卓話

## セブ島訪問報告



溝口会員より、楽しくも考えさせられるセブ島訪問報告がありました。上映されたスライドはホームページからご覧になれます

## 「書き損じハガキ回収運動」へご協力を

毎年 当クラブでは標記の運動を行なっております。

ユネスコ運動のひとつ「世界寺子屋運動」はスローガン「すべての子供たちに教育を」の基に教育の機会をもたない子供たちに教育の場を与えようと世界に先駆けて日本から始まった運動です。世界には学校に行けない子供たちが約7500万人おり そのまま大人になり読み書きできない人々が約7億7600万人おります。このような人々に「学びの場所＝寺子屋」を提供し教育を支援していく運動です。この資金を調達するため「書き損じハガキ回収」を行い(社)日本ユネスコ協会連盟にて切手に交換し企業の協力で現金化されます。未使用切手での義捐も受け付けます。

2月末までに日本ユネスコ協会連盟へ送付致しますのでご協力をお願いします。

担当窓口は新世代活動委員会となります。